

平成 25 年度実施 大網白里市住民協働事業 報告書

事業名	家庭のてんぷら油のリサイクル	
事業主体	実施団体	市（関係課）
	農業を楽しむ会	地域づくり課

事業費	予算額	決算額	市補助金額（交付確定額）
	305,000円	312,427円	300,000円

【 ①課題 ②目的・効果について 】

次の事項がわかるように、事業概要と成果を記入してください。

○どのような地域課題（行政課題）、住民ニーズに対して、

○いつ ○どこで ○誰を対象に ○どんなことを ○どのような方法で実施し、

○どのような効果が得られたか。 ○住民の満足度は得られたか。

団 体

1. 地域の課題

大網白里市では、市内の3か所で油回収する仕組みはあるが、回収日は日曜日、設置場所は市役所ということで、そのためにわざわざ油を持参する人は少ない。

2. 上記課題を解決するために、主婦が買い物で行き来する最寄りのスーパーに設置することにより、顧客を増やすことができると考え、「JA緑の風大網店」の店長の協力を得て、同店に設置することで顧客の掘り起こしをした。

3. 設置場所：JA緑の風大網店、設置期間；2013年5月15日～住民協働事業終了後も継続して設置

回収実績：1140リットル（目標1000リットルの114%）

これは、1.62トンのCO2を削減したことになる

樹木で換算すると、428本の新しい松を植えた事に相当する

燃料でいうと、東京⇄大阪間を12.6回往復したことに相当

4. 緑の風では、油をもってくるということが定着しつつある。これを継続することにより、住民のエコへの意識は向上すると思う。

【 ③企画力 】

団体と市の役割分担について、実際に担った役割を記入してください。

団体の役割	市（関係課）の役割
<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民への油の回収の周知 ・油の回収ロボット「ゆかいくん」の緑の風大網店での店頭設置 ・集めた油のBDF変換の支援（弘東） ・農業を楽しむ会にBDFの引き渡し ・油持参した方へ音楽ライブのプレゼント ・ゆかいくんの外部での出展 大網白里市産業祭、 ユニバーサル in 四街道市 ユニバーサル農業 in 佐倉市 庁内でのパネル展示 	<ul style="list-style-type: none"> ・食用油の回収に関するリーフレットを配布 設置場所 ・大網白里市役所 ・中央公民館 ・保健文化センター ・白里出張所 ・中部コミュニティセンター ・農村環境改善センター ・農村ふれあいセンター ・広報紙への掲載

また、その役割分担は適正であったかについて、自己評価（☑）をしてください。自己評価の理由もあれば記入してください。

団 体	市（関係課）
<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 適正であった <input type="checkbox"/> 概ね適正であった <input type="checkbox"/> あまり適正でなかった (理由) <ul style="list-style-type: none"> ・目標の114%の油回収ができたこと ・住民に少しずつ定着してきたこと ・JA緑の風大網店の店長はじめ、従業員上げて協力的であったこと ・回収業者、農業を楽しむ会の連携が密にできたこと。 	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 適正であった <input checked="" type="checkbox"/> 概ね適正であった <input type="checkbox"/> あまり適正でなかった (理由) 平成25年度に市(町)と農業を楽しむ会との意見交換書の役割事項を概ね適正に行っていたため。

事業スケジュールについて、当初の計画と実際に実施した内容（実績）を詳細に記入してください。

当初の計画	実 績
1 油の回収 1000リットル 2 音楽ライブの開催 3 産業祭の展示 4 外部へのPR 5 学校の社会教育に使ってもらうこと	1 油の回収 1140リットル 2 ミュージシャンを4組6名で開催 3 10月に展示 4 農業フェスタ in 四街道、農業フェスタ in 佐倉市の2か所で開催 5、この点は、学校の意識が低く果たせなかった

また、当初の計画と実績をみて、事業スケジュールの組み立ては妥当であったかについて、自己評価（☑）をしてください。自己評価の理由もあれば記入してください。

団 体
<input type="checkbox"/> 適正であった <input checked="" type="checkbox"/> 概ね適正であった <input type="checkbox"/> あまり適正でなかった (理由) 1月は、大雪、寒波の影響で、ライブの開催にいたらなかった。

【 ④継続性 】

住民協働事業により「人・もの・情報・スキル」等、団体の活動基盤が強化した点や活性化した点について記入してください。

(例：〇〇を購入したことにより〇〇のスキルが上がり、効率的に活動できた。〇〇活動により団体の認知度が高まり、参加者が増えるとともに会員も増えた。)

団 体
<ul style="list-style-type: none"> ・住民の油回収への関心が高まったことは、評価したい。 ・26年度の住民協働に採択されたので、次年度はJA緑の風と主婦の店の2か所にゆかいくんを設置する

また、その結果について、自己評価（☑）をしてください。自己評価の理由もあれば記入してください。

団 体
<p>■ 強化、活性化した</p> <p>□ 概ね強化、活性化した</p> <p>□ あまり強化、活性化しなかった</p> <p>(理由)</p> <ul style="list-style-type: none">・目標の114%達成・住民協働事業団体と交流ができたこと

【 ⑤必要性 】

団体と市が協働することで、行政サービスの充実・効率化等につながったか、協働による効果について記入してください。また、協働事業として実施し、良かった点や問題点等について記入してください。

団 体
<p>今回はコーディネータ役が不在であったことが、一番の課題と考える。行政はアウトプットは求めるものの、活動内容について余り言及せず、提出物を求めることに注力していたのは残念である。具体的に言えば、本報告書についても、書き方についての指示が細かすぎる。(どのイベントに何人参加した報告などは不用)。住民協働事業は、住民と行政が一体となって行う事業で、お互いが心を割って行う事業であるのに、そうはなっていなかった。それは、行政側が住民協働事業の中に入ってこなかったこと、帳票の提出方法に力を注ぐのではなく、活動内容そのものに力を入れること、そうすれば、もっと熱心になれると私は思う。地域づくり課だけでなく、トップを含めた行政全体に言えることである。私は、この1年間活動していても、余り喜びを感じることはなかった。役所と住民とのコンタクトにもっと、力を入れる必要性を感じた。役所がリーダーシップを発揮できないならば、2年目は、外部からコーディネータを入れて、住民のみならず職員の意識向上を図ることをお願いしたい。</p>

市（関係課）
<p>良かった点</p> <p>食用油の回収に関しては、市は、週1回 毎週日曜日 10:00から14:00に限定した回収を行っていたが、ゆかい君設置により平日も回収が行われ、油回収という点から、よりきめ細やかな対応が図れるようになった。</p> <p>問題点</p> <p>本市の食用油回収に関しては、今後、原則、平日に回収を行えるように改善を図り、一層油の回収に力を注ぐ予定。</p> <p>会の役割と本市が行っている回収事業との関連性が今後、問題となる。</p>

また、その協働による効果について、自己評価 (☑) をしてください。自己評価の理由もあれば記入してください。

団 体	市 (関係課)
<p><input checked="" type="checkbox"/> 効果があった</p> <p><input type="checkbox"/> 概ね効果があった</p> <p><input type="checkbox"/> あまり効果はなかった。</p> <p>(理由)</p> <p>てんぷら糟の掃除、持参したペットボトルの回収作業は、週に3回。この点では、農業を楽しむ会のみでは、忙しすぎるので、もっと、もっと協力してくれる住民を巻き込む必要がある。</p>	<p><input type="checkbox"/> 効果があった</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 概ね効果があった</p> <p><input type="checkbox"/> あまり効果はなかった。</p> <p>(理由)</p>